

# 平成27年度 静岡大学 職員海外研修報告書

---

研修先：インドネシア（静岡大学同窓会・ガジヤマダ大学）

研修期間：平成28年1月22日（金）～平成28年1月26日（火）

研修者：財務施設部契約課契約第二係 係員 松廣 玲

工学部教務係 係員 渡邊 千里

# 目次

事前打ち合わせ等	3
研修日程	4
インドネシア同窓会	5
ガジヤマダ大学概要	7
ガジヤマダ大学訪問	8
終わりに	11

# 事前打ち合わせ等

日付	事項	備考
12月18日	海外研修派遣者決定	職員課
1月8日	先方への質問集（日本語版）作成	研修者
1月14日	ジャカルタ市内自爆テロ発生	
1月19日	打合せ 訪問先の決定	職員課・国際交流課・研修者
1月22日～26日	研修	
1月27日	帰国の報告	局長
	報告書の作成	
3月22日	拡大事務協議会報告	

# 研修日程

1月22日（金）	発着 静岡 羽田空港 発着 羽田空港 着 インドネシアスカルノハッタ国際空港 移動 宿泊先（ジャカルタ）	Crowne Plaza Hotel Jakarta
1月23日（土）	<b>インドネシア静岡大学同窓会（Meeting &amp; Luncheon）</b> 発着 ジャカルタ市内 着 インドネシアスカルノハッタ国際空港 発着 インドネシアスカルノハッタ国際空港 着 ジョグジャカルタアジスチプト国際空港 移動 宿泊先（ジョグジャカルタ）	Crowne Plaza Hotel Jakarta      WISMA MM UGM
1月24日（日）	中部ジャワ文化研修	WISMA MM UGM
1月25日（月）	<b>ガジャマダ大学訪問</b> 発着 ガジャマダ大学 着 ジョグジャカルタアジスチプト国際空港 発着 ジョグジャカルタアジスチプト国際空港 着 インドネシアスカルノハッタ国際空港 発着 インドネシアスカルノハッタ国際空港	
1月26日（火）	着 羽田空港	

# 静岡大学同窓会（ジャカルタ開催）1月23日①

## 【目的】

- ①同窓会の組織化
- ②同窓生データベースの情報更新

## 【参加者】

静岡大学に縁のある留学生卒業生・研究者・静岡に関係する企業関係者など総勢60名以上

同窓会はMeetingとLuncheon partyの2部立てで開催され、  
第1部のMeetingでは、

- ①過去の同窓会の紹介 ②同窓会役員の提案・承認
  - ③ABPの広報 ④同窓生データベース更新の依頼
- などが行われた。



挨拶をする鈴木副学長



ABP関係のお話をされる  
松田先生と梶野先生



今後の同窓会組織について話をする卒業生

# 静岡大学同窓会（ジャカルタ開催）1月23日②



Meeting後のLuncheon partyでは出席者間で歓談が行われた。

# ガジヤマダ大学概要

- 1949年設置の国立大学 インドネシアで最も歴史ある大学
- ジョグジャカルタ市内に大学敷地面積約145万m<sup>2</sup>という広大なキャンパスを有する。
- 18学部・27研究センターをもつ総合大学
- 学生数約55,000名 教員数約2,500名
- 大学内には同大学経済学部が運営する宿泊施設や農学部が運営する学生食堂などが存在する

# ガジヤマダ大学の施設①（学内施設）



- ・敷地の広さを生かして広々と空間がとっていると感じられた。学部間の移動では車での移動が必要なほど広いキャンパスであった。
- ・共有スペースや廊下に椅子やソファが多く配置されていた。学生がパソコンの電源を取れるようになっており、その周りでパソコン画面を見て話をしている学生を見かけた。



## ガジヤマダ大学の施設②（ホテル）



研修の一貫として、ガジヤマダ大学の経済学部経営のホテルに宿泊した。  
7階建てで、エレベーターもあり、ホテル内のWifiはストレスなく使用できた。  
このほかにもキャンパス内にゲストハウスが複数あるとのことで、来客者に対する宿泊施設の充実度を感じた。

# ガジヤマダ大学訪問



農学部の副学長を表敬訪問。  
松田先生よりABP関係のお話をした。



国際交流課の建物  
静岡大学の留学生受入も行っている  
事務担当者を訪問した。



工学部の留学生担当の方々に松  
田先生からABPやさくらサイエ  
ンス関係のお話をした。  
その後は教務係を見学させてい  
ただいた。



# おわりに

今回の研修は静岡大学同窓会への参加と協定校であるガジャマダ大学への訪問の2本立てでした。

同窓会では静岡大学が把握しないネットワークで声かけがあり出席いただいた方がいたこともあり、同窓生を通してできるネットワークの底力を感じました。今回は出席者に情報更新の依頼をしましたので、今後このネットワークが静岡大学の活動に寄与することを期待したいと思いました。

ガジャマダ大学の訪問は、訪問自体が渡航の直前に決まり、また半日の日程で各部署を訪問させていただいたため、かなり駆け足となってしまいました。その中で訪問先の手配に尽力いただいたガジャマダ大学の関係者には深く感謝したいと思います。

私自身が普段は留学生や外国人研究者のかかわりを持つ部署にいないため、普段の仕事だけでは経験することのできない静岡大学の広報活動や国際的な活動の場を感じられる良い機会となりました。

同時に広報活動をする先生方を間近に拝見し、自身の大学で行っているプログラムに関する知識不足を感じるとともに、このように積極的に静岡大学をアピールすることの重要性を感じられる機会となりました。



ガジャマダ大学内にある  
静岡本学事務所前にて